

ひと ひと

女と男の情報紙

# 笑がお



## 《笑がお》の発刊にあたって

私たち、吉川市男女共同参画推進市民会議OB「笑がおの会」は、吉川市の中でその人らしく生き生きと暮らしている多くの方々を紹介する情報紙をつくろうと思い立ちました。

幸せは人それぞれですが、性別や年齢や役割に縛られず暮らす人たちの生き方は、きっと私たちを元気づけてくれると思います。自分の生き方に疑問を持ったとき、もっと人生を豊かにしたいと思ったとき、「こんな生き方もあるんだ！」と新たな道が見えてくるでしょう。

一人ひとりの力は小さくても、誰かと繋がることによって夢への一步を踏み出せる。そして、それは地域に大きな活力を与えてくれることになるのではないのでしょうか。

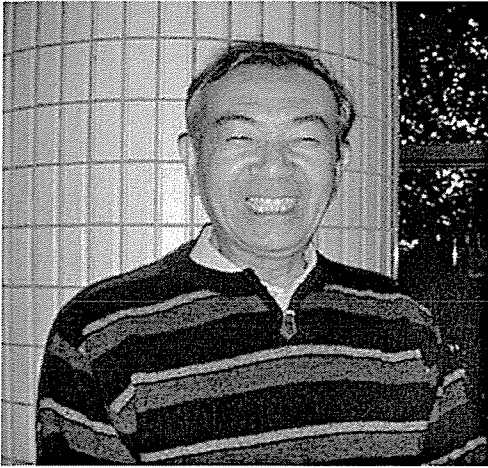
みんなが笑顔でいられるために・・・

みんなが笑顔になる街づくり・・・

地域づくりを一緒に考えていきませんか？

# イキイキ笑顔人

自分らしく  
輝いている人  
見つけた。



リタイヤして二ヶ月目、

「合唱」で地域デビューしました！

自分らしく輝いている人の笑顔っていいな……。このコラム「イキイキ笑顔人」のトップバッターは橋本さんです。定年退職後、大いなる自由時間を手に入れた橋本さんの「笑顔」は、何だかとってもイキイキしています。そのわけを語っていただきました。

ファイルNo.1：橋本 憲一郎 さん（64歳）

90年より吉川在住。家族は妻と子ども3人。得意料理は「ニシンとフキの煮物」。

## 楽しくて心が躍る「合唱」

長年のサラリーマン生活を卒業したのは今年の6月でした。しばらくは何もせずに、のんびりしようと思っていたんです。ところが7月に中央公民館で開催された「合唱祭」を聞きに行ったのがきっかけで、「とりあえず、やってみよう」という気持ちになり、8月には吉川混声合唱団に入団しました。歌は大好きなもの、声もかすれて音域も狭いからと自信の無い私の背中を押してくれたのは妻でした。「とにかく練習を見てくれば」と、どんどん段取りを進めてくれて……。研究系の仕事だったこともあり、人と接するのがあまり得意じゃないんです。僕の性格だと、リタイヤ後にぶらぶらしている生活に慣れてしまったら、新しいことに挑戦する気が失せてしまったかもしれません。

「合唱」は楽しいですね。指揮者のタクトで、全員のハーモニーがピタッと合うと心が躍ります。団員のみんなで一つのものを作り上げていく充実感も魅力です。今、12月の結成15周年のコンサートに向けて、特訓中です。覚えなくてはいけない譜面がたくさんあって、頑張っています。週一回の練習は約2時間。結構体力を使うので、その夜はぐっすり眠れますよ（笑）。

こんなに楽しい合唱サークルなのでもっと仲間を増やしたくなって、住んでいるマンションにメンバー募集の張り紙をしようかと思っています。来たれ団塊世代！だけじゃなくて、どの世代も大歓迎！ですから（笑）。

## “教育ボランティア”もやってみたい

実は「合唱」の他に、できればもう一つやりたいことがあるんです。それは、子どもたちに科学や自然の楽しさや面白さを伝える教育ボランティア的な活動です。子どもたちには無限の可能性があるので、その芽を伸ばす機会は学校の授業だけでなく、なるべくたくさんあったほうがいいですよ。

吉川にはまだまだ自然がたくさん残っているので、この環境は大いに活用すべきです。具体的な計画はまだありませんが、活動を通して子どもたちの「自分からやってみよう」という意欲が高められればとも思っています。研究者としての僕の経験や知識が、子どもたちの役に立ったら嬉しいですね。

（2007. 11 談）

## 我が子をDV（ドメスティック・バイオレンス） の加・被害者にしないために

2007「人権セミナー」

12月6日（木）中央公民館において、浅野富美枝先生（宮城学院女子大学教授）の講演があり、参加者44名の方々が熱心に聴講しました。

この人権セミナーでの浅野先生の講演は、女性の人権をメインテーマにDV問題を子どもに視点をあててのお話でした。

まず始めに、DVとは、家庭内暴力、主として夫・パートナーから妻・恋人への暴力を意味している。男性優位な社会構造をもつ日本においては、身体的・性的暴力は、夫から妻への暴力の場合、特に、「夫婦喧嘩」という個人的な問題として処理されることや妻の経済力の無さから表面化しにくかった。しかし、夫婦・恋人同士であっても、女性への暴力は、生命の尊重や幸福の追求を阻止する人権問題であり、犯罪以外のなにもものでもないという認識を深く根づかせていくことが重要である。

また、DVを受け続けることで、女性の自尊心は傷つき、精神的なダメージが大きく、人格そのものが破壊され、生きる意思を失うことがある。

DV家庭で育った子どもたちが受ける心の傷は修復が難しく、子どもたち自身も将来苦しむことになる。DVを次代に残さないことや子どもの人権を守るためには、中学・高校の段階から啓発活動を行い、暴力を容認する社会の風潮を変え、人権尊重社会を作って行かなければならないという内容でした。

参加者の感想では、「TVなどでよく聞くがDVについて初めて理解できた」「デートDVの現状が聞けた」「もう一度聞きたい」「今後、このような講座を開催してほしい」という意見が多くありました。

来年1月には、DV法の一部改正法が施行され、DV対策基本計画作成が努力義務となり、今後の充実が市行政に求められています。



## 元気な人に会いました

～『元気』の源は『志(こころざし)』にあり～

「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」

「男女共同参画宣言都市サミット in おおつ」に参加して

今年参加した内閣府主催による男女共同参画のための2つのイベントについて報告します。

はじめに、2007年8月31日から9月2日にかけて国立女性教育会館で行われた「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」です。このフォーラムの基調講演では、大手建設会社の天野玲子さんと前鳥取県知事の片山善博さんのお話が印象に残りました。天野さんは、建設業界が「男社会」だった時代に、いかにして土木を志しその頑強な「男社会」を乗り越えたかを話し、また片山さんは、知事時代に「男女共同参画は我々社会のノーマライゼーション」であると言う自らの信念を施策に反映するための取組みを話していました。

次に11月2日に滋賀県大津市で行われた「男女共同参画宣言都市サミット in おおつ」では、全国の男女共同参画宣言都市をした首長の考え方や政策が披露されました。

これらの大会に参加し、共通して感じたのは、講演者達が明確な「志」と「目的意識」を持っていて、それが多くの人たちに「元気」を与えているということでした。

女性が輝く社会づくり

「ターニングポイント「折り梅」100万人を紡いだ出会い」

映画「折り梅」上映と松井久子監督の講演会

日時 2008年3月1日(土曜日) 午後1時から  
ところ 市民交流センターおあしす 多目的ホール  
入場料 無料 定員 100名

感動 をあなたに届けます。  
是非、  
見に来てください!



松井久子(マツイヒサコ) 映画監督・脚本家・プロデューサー

1946年東京出身。

早稲田大学第一文学部演劇科卒業後、  
雑誌の編集者およびライターとして活躍。

1998年、企画から公開まで5年の歳月をかけて制作した『ユキエ』で  
映画監督デビュー。多くの映画賞を受賞し、演出力が絶賛された。

2002年には待望の監督第二作『折り梅』が公開。

全国で上映会が続ぎ、2004年春にはついに観客動員が100万人を超えた。

2004年12月には、初めての著作となる「ターニングポイント〜『折り梅』100万人をつむいだ  
出会い」(講談社)を発表。現在は各地での講演会・上映会に呼ばれる傍ら、映画第3作目にむ  
けた製作準備を進めている。



それは、ある日突然、平和な家庭にふりかかった...

名古屋郊外のベッド・タウン、愛知県豊明市。

サラリーマンの夫・裕三とパート勤めの妻・巴、中学生と小学生の子ども二人の4人家族に、夫  
の母・マサコが同居することになった。ところがまもなく、マサコが変調をきたし始め、病院でア  
ルツハイマー型痴呆症と診断される。バラバラになる家族、ところが...

崩壊しかけた家族が、思いがけない展開とさまざまな葛藤を経て、見事に再生してゆく物語に、  
人間の無限の可能性が描かれる。

2001-2002年/カラー/ビスタサイズ/ステレオ/111分

製作・監督・編集:松井久子

出演:原田美枝子 吉行和子 トミーズ雅 加藤登紀子 ほか

私たちの情報紙作成をお手伝いしていただく方  
を募集します。

気軽に声をかけてください。



「笑顔」の写真募集!

あなたのおきの写真  
を情報紙に掲載しません  
か?詳しくは下記へお問合  
せください。

\* 題字については、檜垣民子さんのご協力をいただきました。

発行 吉川市男女共同参画推進市民会議OB「笑がおの会」

問合せ 吉川市市民参加推進課男女共同参画係

〒342-8501 埼玉県吉川市吉川2-1-1

電話 048-982-9685 FAX 048-981-5682

女と男は、女性と男性を性別によって差別されることのない一人ひとりの人間としてとらえ、表した言葉です。